「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

③大学スポーツによる地域振興等の推進事業［ 学内活性型 型］

大学名	東京理科大学

実施計画名	スポーツアクセスを支える大学スポーツ協創事業 ― 学生の多様な専門性が支える地域スポーツコミュニティの形成 ―
事業概要	本事業は、運動部学生と非運動部学生が協創する「スポーツアクセス協創コミュニティ」を形成し、部活動地域展開支援、インクルーシブスポーツ推進及びスポーツサイエンス活用を通じて、地域住民のスポーツ参加機会の充実と学内ウェルビーイング向上を図るものである。また、本学のオープンバッジ制度を活用した「スポーツアクセス協創リーダー認定制度」を整備し、地域スポーツを支える人材育成モデルを構築する。

■対象地域が抱える課題

対象地域	◆東京理科大学内・●千葉県野田市・流山市 （将来的展開：柏市・我孫子市を含む東葛地域）

◆運動部と非運動部の連携によるスポーツアクセス
◆非運動部学生のスポーツの機会減少
◆女子学生のウェルビーイング
●中学校部活動の地域展開に伴う指導者・運営人材不足
●年齢や性別、障害に依存しないスポーツアクセス

■活用する大学スポーツ資源

①**人材**：運動部学生・非運動部学生・教職員・スポーツアクセス協創リーダー
②**知的資源**：東京理科大学総合研究院スポーツサイエンス研究部門の研究成果
③**施設**：東京理科大学野田キャンパススポーツ・研修施設

■主な参加者･想定人数　（延参加者数 約350名）

区分	内容	人数
学生	運動部学生・非運動部学生	50名
地域住民	子ども・保護者	150名
地域住民	高齢者	80名
地域住民	障害者・支援者	40名
関係者	自治体・地域団体・学校関係者	30名

■期待される事業効果

【学内効果】
・運動部学生と非運動部学生の交流促進
・女子学生を含む多様な学生のウェルビーイング向上
・学生の地域貢献意識向上
・大学への帰属意識向上

【地域効果】
・地域住民のスポーツ参加機会拡充
・部活動地域展開支援の推進
・インクルーシブスポーツの普及
・多世代交流による地域コミュニティ活性化

【モデル効果】
・協創リーダー形成
・大学協創モデルの横展開

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織･団体との連携体制も示すこと）

